

令和4年度第9回安城市地域ケア推進会議

日時 令和5年3月16日(木)

午後1時30分～午後2時30分

場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

マスクの着用も個人の判断となったが、感染対策は自分の身は自分で守ることが基本であり、患者や利用者や自分の家族を守ることにもつながる。引き続き気を付けていただきたい。

2 議題

(1) 在宅医療・介護連携推進のための研修会等実施報告(資料1)

・デイネット部会

デイネット部会)

(資料に沿って説明)

(2) 令和4年度研修会の報告及び令和5年度研修会の予定について(資料2)

事務局)

(資料に沿って説明)

令和4年度研修会は、11回の開催で延べ595人の参加があり、ほぼ予定通り開催することができた。研修の半分以上がオンラインでの開催で、主なテーマとしては、意思決定支援や災害時等における多職種連携のテーマで実施できた。令和5年度も引き続き対面やオンラインを活用しながら、顔の見える関係づくりや連携のためにご協力をお願いしたい。

(3) 令和4年度検討テーマ報告及び令和5年度検討テーマについて(資料3)

【報告】

病院部会・医師会部会・訪問看護ネットワーク部会・リハビリネット部会・ケアマネット部会・デイネット部会・ヘルパーネット部会・グループホーム部会

(資料の通り報告)

(4) 情報共有

・人生の最終段階にあり心肺蘇生を望まない傷病者への対応について(資料4)

在宅医療サポートセンター)

(資料に沿って説明)

令和4年9月の推進会議時に説明があった内容であるが、運用開始日が、令和5年4月1日ということで、周知のため再度資料の掲載を行った。周知内容としては、「人生の最終段階にあり心肺蘇生を望まない心肺停止傷病者への救急隊活動要領」が、衣浦東部広域連合消防局のホームページに掲載され、閲覧が可能となる。

【意見】

医師会部会)

西三河地区メディカルコントロール協議会の委員として協議会に出席しているが、いまのところ西三河地区では問題はないようで、運用開始に向け準備を進めているところである。

会長)

病院内でも急変時に身近に対応している家族は治療方針を理解しており、結果について満足しているが、その後普段関りの少ない親族が出てきて意見の食い違いが見られ、関係を崩す事例を聞くことがある。救急隊の不搬送についても同じような状況が起こりうる可能性があるため、今後事例検討が必要になってくるかもしれない。

(5) その他

会長)

令和4年度の最後になり、昨年度までは前会長がリーダーシップを発揮され安心して仕事ができたとと思う。私は今年度1年間会長を行ったが、不慣れでみなさんにご迷惑をおかけ心配をかけていたと思うが、来年度もひきつづきよろしく願いいたします。1年間ありがとうございました。

今年度が最後の方挨拶をお願いします。

デイネット部会)

長く参加させていただいた。推進会議は横のつながりのできる良い場所であると思う。ACP 作業部会にも参加していたが、今期でいったん終了となるが、ひきつづき協力していけるところは協力していきたい。

歯科医師会部会)

来年度は、在宅医療に携わる多職種のスタッフと積極的に関わることで、利用者様の利益になる情報など相互に、気軽にやり取りできる関係の構築を部会のテーマで検討していきたい。

訪問看護ネットワーク部会)

業務の中で普段接点が少ない住まい部会や地域支援部会の方の話を聞いて良かった。

ケアマネット部会)

会議に参加することにより、地域包括ケアシステムをイメージすることができた。また、多職種で連携し、つながりを意識してしていくことができるようになった。

グループホーム部会)

地域包括ケアシステムを実感することができた。

保健福祉部会)

包括ネット、保健福祉部会で話し合ったことを推進会議で出していく流れがわかった。

施設部会)

長く参加していたが、回を重ねていくたびに学ぶことが多くあった。

連絡事項

・令和5年度代表選出について（資料5）

事務局：資料5に沿って説明）

事務局）

（資料に沿って説明）

3月24日までに参加者名簿の提出をお願いします。

高齢福祉課長あいさつ

皆さまには大変お忙しい中、地域ケア推進会議にご出席いただきありがとうございました。団塊の世代の方が全員75歳以上になる2025年が間近に迫っています。今後は、高齢化が進むに加えて人材不足や労働力不足も加えて始まります。それに対応するには、地域の方や医療、介護、福祉の専門職、社協や市も含めてうまくつながって、そこからさまざまな個人や地域の課題の解決に結び付けていくことが、ますます重要になってきます。地域ケア推進会議はそのための場であり、お集りの皆様につきましては、この会議や部会の活動等を通じて、様々な情報提供や顔の見える関係づくりにご尽力いただきました。深く感謝申し上げます。地域包括ケアシステムというのは、地域共生社会を実現するための一つの手段であり、私たちが取り組んでいるのは、まさに住み慣れた地域で最期まで、自分らしい生活ができるまちをつくるまちづくりであります。一朝一夕では出来ないが、一步ずつ前に進めていきたいと思しますので引き続きご協力をお願いします。年度が替わり会議から卒業する方もいらっしゃると思いますが、それぞれのお立場で、引き続き安城市における地域包括ケアシステムの推進にお力添えを賜りたいと存じます。一年間本当にありがとうございました。

次回 令和5年4月20日（木）午後1時30分～3時00分 社会福祉会館 会議室